

特定設備事故届出状況(遊戯施設)

番号	事故発生日	事故の分類	事故状況	建物用途	被害者の年齢層	人数	症状	被害程度	再発防止対策の状況
1	H21 5/5	その他・不明	ウォーターシュートの乗車姿勢に無理があったため、肩を脱臼した(元々脱臼癖があった)。	遊園地	20～64歳	1	左肩脱臼	入院不要	注意喚起掲示による
2	6/12	運行管理上の不注意による	(1列が5人乗りの)ウォーターシュートに乗車する時、他の乗客との体格差が著しくあったため、安全バーと腹部との間にすきまが発生し、乗車中に体が動いて腰を座席にぶつけた。	遊園地	20～64歳	1	腰椎挫傷	入院不要	体格が大きく異なる利用者同士が同じ列に乗らないよう案内する。
3	8/5	運行管理上の不注意による	ウォーターライダー着水時に、補助が行われず、更にバランスを崩し、更に着水時にプール床底面において頭を打撲した。	遊園地	20～64歳	1	左側頭部受傷	入院不要	バランスを崩した利用者に対する速やかな補助を確実にすることとともに安全な乗り方について注意喚起(案内)に努める。
4	8/12	その他・不明	コースター乗車中、口を大きく開けて声を出した後、口が閉じなくなった。	遊園地	13～19歳	1	顎関節脱臼	入院不要	従来より事故対策を講じている(警備員常駐)
5	8/14	機械的トラブル等	サイクルコースターを利用中、機械の不具合により逆走したため、連動したペダルが逆回転し、足に当たった。	遊園地	5歳以下	1	足擦り傷等	入院不要	機械的トラブルがあっても、逆回転を防止できる部品を取り付ける。
6	8/30	その他・不明	乗物の急降下中に、前方席より飛来した他の乗客の帽子が左肩部に当たった。	遊園地	20～64歳	1	左肩部切傷	入院不要	乗車中に帽子を着用しないよう案内、脱げない場合は最後列に案内する。
7	11/7	その他・不明	ブランコの回転中、児童が降りようとしたため、非常ブレーキを掛けたが停止前に落下した。	遊園地	6～12歳	1	両手の骨折	入院不要	利用者を固定する手すりについて利用者自らが容易に外せないような構造とした(ブランコの座席両側の吊り下げ用チェーンにナス環を取り付けた)。
8	11/15	器具などに衝突する	運転待機中、ロックされていない安全バーから手を離したためバーが跳ね上がり、口に当たった。	遊園地	6～12歳	1	歯の欠損	入院不要	乗車後すぐに、安全バーをロックするよう操作手順を変更するとともに、注意案内を徹底する。
9	11/25	器具などに衝突する	コースターに乗車中、安全バーから手を放していたため体が前傾し、バーに口が当たった。	遊園地	13～19歳	1	義歯の脱落	入院不要	従来より事故対策を講じている(注意案内の徹底、警備員の常駐)
10	12/3	その他・不明	ウォーターシュートの安全バーをセットする際、バーと座席の間に右ひざ部分を挟んだ。	遊園地	20～64歳	1	右ひざ打撲	入院不要	安全バーセット時の注意点について注意喚起・案内を徹底する。
11	H22 1/1	その他・不明	かかとを骨折している状態で乗車し、乗車後、患部に痛みが発生した。	遊園地	20～64歳	1	骨折部痛感	3週間未満の入院	従来より事故対策を講じている(乗車制限告知、乗車前の確認)
12	2/6	その他・不明	乗り物の動作により、首を痛めた。	遊園地	20～64歳	1	首を痛める	入院不要	乗り物が正常に作動しているか確認する。
13	3/8	その他・不明	コースター乗車時、両手を挙げた際に左肩を脱臼した。	遊園地	13～19歳	1	肩の脱臼	入院不要	従来より事故対策を講じている(オペレーターによる乗車姿勢の案内)